

NORITSU

face the NEXT™

決算補足説明資料 2020年3月期 通期

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証1部）

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

■ 事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。

連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

1 2020年3月期 連結業績

2 2021年3月期 連結業績予想

3 APPENDIX

2020年3月期通期連結業績 ハイライト

事業EBITDAは業績予想8,400百万円に対しプラスで着地
親会社の所有者に帰属する当期利益は業績予想700百万円に対しプラスで着地

単位：百万円

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	対前期	
			増減額	増減比
売上収益	63,527	65,114	+1,587	+2.5%
事業EBITDA	7,965	8,931	+966	+12.1%
事業EBITDAマージン	12.5%	13.7%		
営業利益	6,053	3,782	△2,271	-37.5%
税引前利益	5,954	214	△5,739	-96.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,948	1,289	△1,658	-56.3%

セグメント変更について

事業ポートフォリオ再編の結果、報告セグメントを変更。(2020年5月15日)
コア事業である「ものづくり」「ヘルスケア」を中心としていきます。

変更前

ものづくり	変更なし AlphaTheta追加
ヘルスケア	変更なし JMDCグループ中心へ
創薬	廃止 ※日本再生医療をジーンテックノサイエンスへ譲渡
シニア・ライフ	変更なし
アグリ・フード	廃止 ※事業からの撤退
その他	変更なし

変更後

ものづくり
AlphaTheta テイボー・ソリトン
ヘルスケア
JMDCグループ NKメディコ・ジーンテック フィード
シニア・ライフ
ハルメク・全国通販・日本共済
その他

※四角内は主な事業会社

参考) 事業ポートフォリオの再編

2009年

2012年

2013年

2014年

2015年

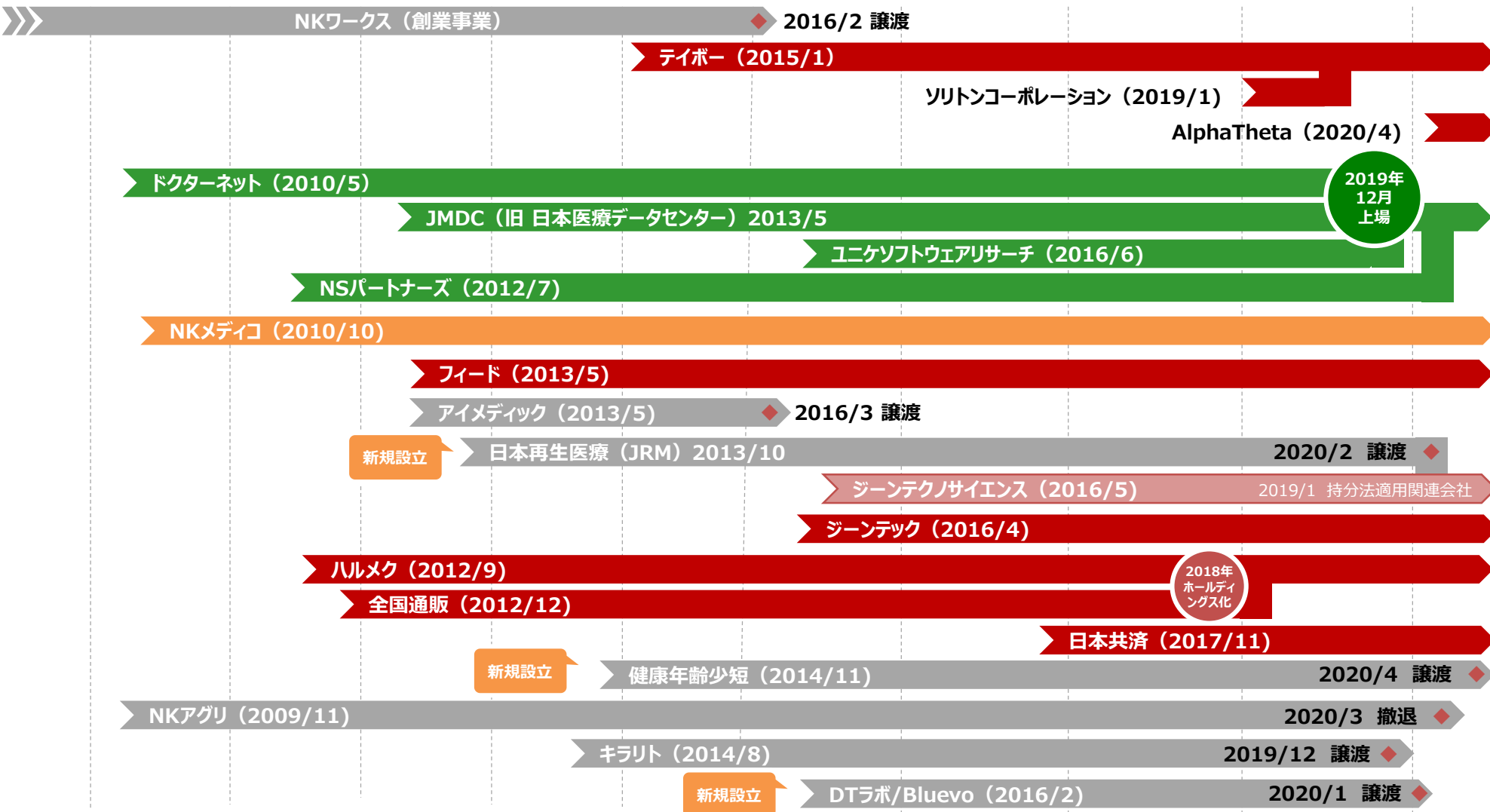
2016年

2017年

2018年

2019年

2020年



ものづくり

ティボー（ペン先事業・コスメ事業・MIM事業）に加え、2020年4月3日より、音楽・エンターテインメント向け音響・機器事業を展開するAlphaThetaがグループ入り。両社ともにグローバルトップシェアを誇るNo.1/Only1の事業体として、引き続き収益力・キャッシュ創出力を高めてまいります。

ヘルスケア

中核企業であるJMDCが2019年12月、東証マザーズに上場いたしました。これを機に、JMDCグループを中心に事業運営の一層の効率化を目指し、関連事業を一部集約しました。

（2020年4月、エヌエスパートナーズの株式をJMDCグループへ譲渡）

その他のグループ企業においては、引き続き個別事業の可能性を追求し、サービスの普及を通じた市場シェア向上を目指します。

シニア・ライフ

2020年3月期第2四半期に、全国通販の構造変革に伴い減損処理を行いました。また、ハルメクにおいては雑誌購読者数が大きく伸長しました。少額短期保険事業において、契約数は順調に増加したものの、秋季の台風により損害率が上昇し、利益は減少いたしました。

その他

ポートフォリオ再編の過程で、ジーンテクノサイエンス（以下、GTS）を持分法関連会社とするための会計処理を行いました。また、創薬事業の日本再生医療をGTSへ譲渡いたしました。2020年2月、アグリ・フード事業から撤退いたしました。この結果、「創薬」「アグリ・フード」事業セグメントを廃止いたします。

一過性の要因による通期連結業績への影響

単位：百万円

当期に発生した一過性要因	PL			CF
	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	現金預金
1Q GTSに関する会計処理 *1	-	△2,116	△9	-
2Q 減損損失 *2	△2,607	△2,607	△2,607	-
3Q JMDCの上場 *2	-	- *3	△150 *4 +1,172 *5	+10,603
4Q 保有上場株式の売却	-	- *3	+500 *5	+5,890
4Q 持分法適用株式の減損	-	△508	△508	-
4Q 繰越欠損金の見積額の変更	-	-	△1,789	-
合計	△2,607	△5,231	△3,391	+16,493 *6

*7

*1 2020年3月期 第1四半期 決算補足説明資料参照

*2 2020年3月期 第2四半期 決算補足説明資料参照

*3 売却益はPL計上なし

*4 持分減少

*5 売却益に対する税効果、3Q決算時に実現

*6 ノーリツ鋼機による売出し・オーバーアロットメント分、JMDCによる募集は含まない

*7 2019/11/13公表、業績予想修正に反映済

通期連結業績（一過性の要因除く）

前頁の一過性の要因を除くと、営業利益は64億円（対前年+5.6%）、
親会社の所有者に帰属する当期利益は47億円（対前年+58.9%）

単位：百万円

	2019年3月期 実績	2020年3月期		対前年比 増減率
		実績	一過性の要因を除く	
売上収益	63,527	65,114	65,114	+2.5%
事業EBITDA	7,965	8,931	8,931	+12.1%
営業利益	6,053	3,782	6,389	+5.6%
税引前利益	5,954	214	5,445	-8.5%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,948	1,289	4,680	+58.8%

セグメント別 売上収益／事業EBITDA

単位：百万円	売上収益			事業EBITDA*		
	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	対前期 増減率	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	対前期 増減率
ものづくり	11,890	11,276	-5.2%	3,993	3,635	-9.0%
ヘルスケア	23,556	25,989	+10.3%	4,214	5,050	+19.8%
シニア・ ライフ	27,864	27,770	-0.3%	667	913	+36.7%
その他	215	78	-63.7%	10	△84	-
全社費用	-	-	-	△920	△582	-
連結合計	63,527	65,114	+2.5%	7,965	8,931	+12.1%

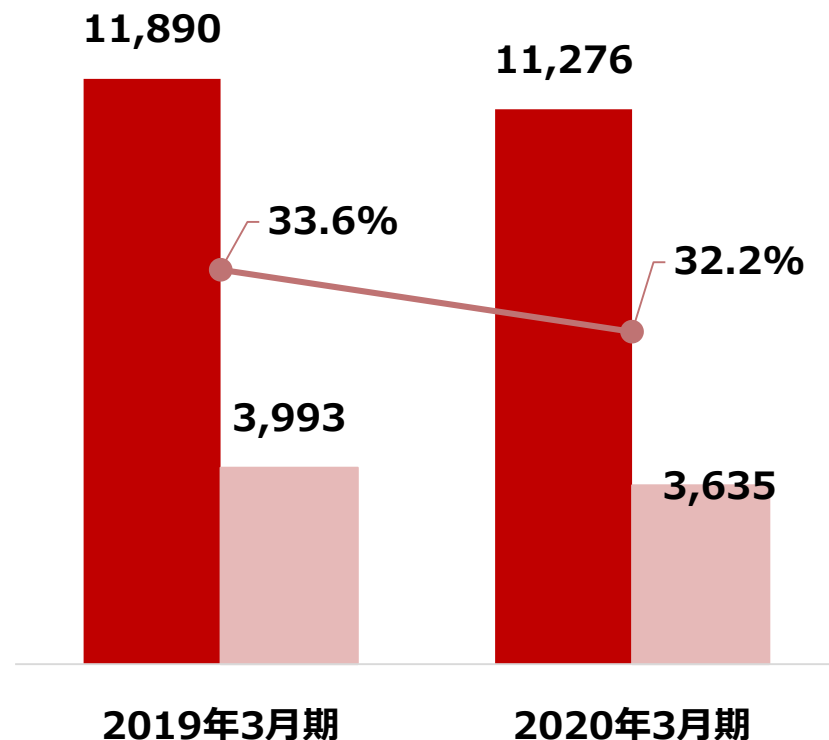
* 2020年3月期よりセグメント別の事業EBITDAは全社費用配賦前に変更しております。（2019年3月期も全社費用配賦前に修正済み）

* JMDCが公表しているEBITDAと当社の事業EBITDAでは定義が異なります。

コロナウイルスによる影響
グローバルシェアが高いこともあり、最も影響を受けた
(売上収益で数億円程度)

単位：百万円

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



売上収益 -5.2% 減収

- ・ プロダクトミックスは、ペン先減、コスメ・MIM増

筆記事業

- ・ 顧客の在庫調整の影響と一部大口取引について前期前倒しが発生
- ・ 米中貿易摩擦による販売減

コスメ事業

- ・ 米中貿易摩擦による販売減

MIM事業

- ・ 次の柱にするため注力した結果、2桁成長を維持
- ・ 今後は市場の動向を見極め、調整しながら対応

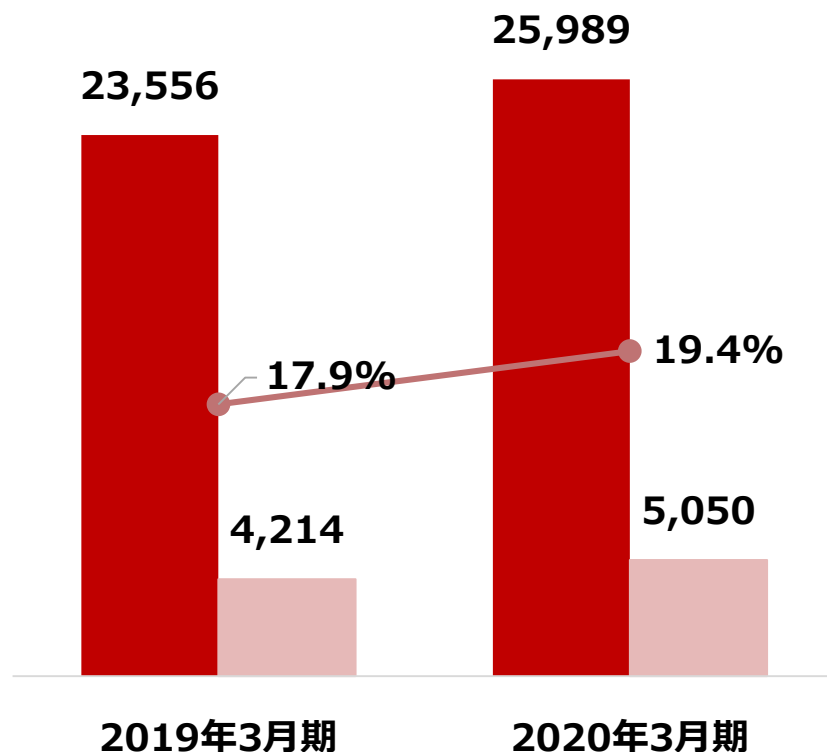
事業EBITDA -9.0% 減益

- ・ 減益となったものの、引き続き高い収益性は維持（事業EBITDAマージン 30%超）
- ・ 今後もグループの基盤事業として安定した収益の創出を目指す

コロナウイルスによる影響
来院控えなど一部影響見られた一方、医療機関向け通販は販売好調であったため、セグメント全体としては特に影響なし

単位：百万円

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



売上収益 +10.3% 順調に成長

- ・ 医療情報 (+18.3%)
- ・ 医療検査 (+7.1%)
- ・ 医療機関サポート (+5.0%)
- ・ 歯科材料 (+3.4%)

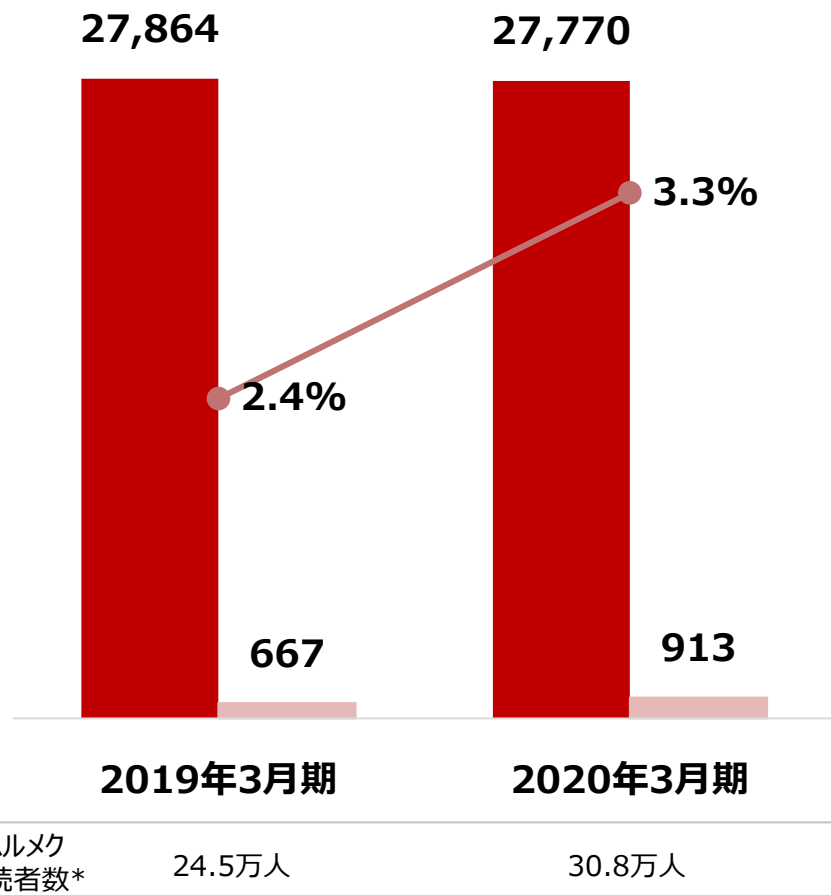
事業EBITDA +19.8% 大幅増益

- ・ 売上収益の伸びに伴い伸長
- ・ 検査事業にて規制緩和が延期されるなどの影響もあったが、セグメント全体として、コスト改善効果等により収益性向上

コロナウイルスによる影響
リアル店舗の営業自粛、旅行やイベントの中止による影響あり（売上収益で数億円程度）

単位：百万円

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



*2019年3/10号、2020年3/10号の数値

売上収益 -0.3% ほぼ横ばい

通販 (-4.1%)

- ハルメクは購読者数の増加に伴い売上収益も伸長（「ハルメク」購読者数30万人超え）
- 全国通販は収益性を高める戦略により売上規模縮小

少額短期保険 (+10.3%)

- 家財保険が伸長

事業EBITDA +36.7% 大幅に改善

通販

- ハルメクの伸長
- 全国通販のコスト見直しによる黒字化

少額短期保険

- 秋季台風の影響で保険金支払い約1.7億円の費用が発生

グループ事業の再編により収益性向上（事業EBITDAマージン +1.2%）

ROEは1.7%だが、一過性の要因を除くと6.1%

今後も、ROE8%を目先目標として、収益性改善に取り組む

	2019年3月期	2020年3月期	増減
EBITDA マージン	12.5%	13.7%	+ 1.2%
ROE	3.9%	1.7% (一過性を除くと6.1%)	-2.2% (+2.2%)

1 2020年3月期 連結業績

2 2021年3月期 連結業績予想

3 APPENDIX

新型コロナウイルスの影響について(1)

主要セグメント事業への影響 (5/15現在)

セグメント	主な事業会社	見通し
	テイボー	<ul style="list-style-type: none">ペン先事業およびMIM事業ともに、中国から調達している一部素材に滞りがあったが準備在庫により、生産への影響は特になし。4月以降は通常通りに戻っている。生産について、中国工場は春節休暇の1月下旬～2月上旬まで停止。国内工場は交代制により通常稼働だが、販売に合わせて稼働ラインを調整。販売はリモートにより活動継続しているが、各国顧客が生産計画の見直しを進めており、今後もロックダウンが長引けば、受注が落ち込む可能性あり。新工場建設および移設は、生産活動と並行運用が少なくなる現状のメリットもあるため、基本部分は予定通り進め、状況を見ながら調整を行う。
ものづくり	AlphaTheta	<ul style="list-style-type: none">中国等、一部調達品に影響あり。徐々に正常化に向かう見通し。ファブレス工場（海外）において、ロックダウンの影響により3月中旬～4月下旬まで一ヶ月強停止。現在は通常稼働に戻っているが、停止期間の挽回が課題。物流は通常通り動いているが、工場停止分を挽回すべく早期供給をする場合、空輸運賃高騰の影響を受ける可能性あり。販売チャネルは、すべてリモート販売（インターネット販売含む）に切り替えて対応。足元では、巣ごもり需要もありホームユース製品が伸び、前年比で成長。需要の底堅さを確認。工場の停止期間の影響で需要に供給が追いつかず、今後の販売が鈍化する可能性あり。

新型コロナウイルスの影響について(2)

主要セグメント事業への影響（5/15現在）

セグメント	主な事業会社	見通し
ヘルスケア	JMDCグループ	<u>医療情報</u> <ul style="list-style-type: none">開発はリモート体制により予定通り進捗。活動自粛の中、医療機関への来院控えにより、遠隔画像診断、医療機関コンサルティングなど医療機関向けサービスの販売が一部鈍化する可能性あり。
	フィード	<u>歯科材料</u> <ul style="list-style-type: none">中国および東南アジアからの調達品に一部影響あり。物流は特に影響なく、ダイレクト通販のため、マスクを筆頭に販売は好調。今後、調達が滞った場合には、需要に供給が追いつかず、販売が落ち込む可能性あり。今後、歯科医院の売上の落ち込みが顕著になった場合には、販売が落ち込む可能性あり。
	NKメディコ ジーンテック	<u>医療検査</u> <ul style="list-style-type: none">一部の医療機関の健診の中止/縮小や、来院控えなどの影響により、販売が鈍化する可能性あり。主力サービスは、自社のラボの通常稼働していることにより、特に影響なし。
シニア・ライフ	ハルメク	<u>通販</u> <ul style="list-style-type: none">コールセンターの稼働調整により受注キャパシティが低下、販売が落ち込む可能性あり。一部中国からの調達品に影響あり。リアル店舗の営業自粛、旅行やイベントの中止により、販売落ち込みの影響あり。

2021年3月期連結業績予想

税引前利益および親会社の所有者に帰属する当期利益については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、現時点では合理的に算定することが困難なため、未定といたします。

今後、算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

単位：百万円

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	対前期		
			増減額	増減比	
売上収益	65,114	87,000	+21,886	+33.6%	
事業EBITDA	8,931	12,000	+3,069	+34.4%	
事業EBITDAマージン	13.7%	13.8%	+0.1%	-	
営業利益	3,782	7,700	+3,918	+103.6%	
為替レート	米ドル	-	107円	-	-
	ユーロ	-	116円	-	-

※現在の見直しには、潜在的なリスクや不確実性を含んでおり、本資料発表時点で想定する影響額及び足元の状況を織り込んでおりますが、これらの見直しとは異なる結果になる可能性があります。今後、新たに業績見通しの変動する場合には、速やかにお知らせいたします。

2021年3月期連結業績予想の補足

今期より連結となるAlphaThetaの数字影響は以下の通りです。

4月速報値は前年比で伸長しているものの、グローバルシェアが高いことから新型コロナウイルスの影響を保守的に捉え、売上は前年比ほぼ横ばいと算定しております。事業EBITDAは、研究開発費などのコストを据え置きとし、前年比 -18.2%と算定しております。

PL

単位：億円	2019年12月期 実績 *1	2021年3月期 予想 *2	対前期	
			増減額	増減比
売上収益	253	250	△3	-1.2%
事業EBITDA *3	55	45	△10	-18.2%
事業EBITDAマージン	21.7%	18.0%	-3.7%	
営業利益	33	11 ^{*4}	△22	-66.7%
税引前利益	32	-	-	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	38	-	-	-

*1 AlphaThetaの決算期は12月のため、2019年1月から2019年12月の数値

*2 2021年3月期の予想数値は2020年4月から2021年3月の数値

*3 1円の円安/円高につき、年間70百万円の事業EBITDAの増益/減益インパクト
(キャッシュはナチュラルヘッジにより、影響限定的)

*4 今期はFAフィーなど、一過性の要因約15億円をコストに計上

BS

流動資産 90億円	流動負債 44億円
	非流動負債 140億円
非流動資産 (のれん含む) 744億円	有利子負債 450億円
	現金200億 (エクイティ出資)

企業価値
650億円

※ 連結取込時の概算影響数値

※ のれんは概算で350億円前後と想定。

※ PPA反映前の概算値

セグメント別 売上収益／事業EBITDA

単位：百万円	売上収益			事業EBITDA		
	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	対前期 増減率	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	対前期 増減率
ものづくり	11,276	34,500	+206.0%	3,635	7,500	+106.3%
ティボー	11,276	9,500	-15.8%	3,635	3,000	-17.5%
AlphaTheta	-	25,000	-	-	4,500	-
ヘルスケア	25,989	27,300	+5.0%	5,050	4,600	-8.9%
JMDCグループ *1 *2	13,784	15,000	+8.8%	3,654	3,400	-7.0%
その他	12,205	12,300	+0.8%	1,396	1,200	-14.0%
シニア・ライフ	27,770	25,200	-9.3%	913	950	+4.1%
その他	78	-	-	-84	-100	-
全社費用	-	-	-	-582	-950	-
連結合計	65,114	87,000	+33.6%	8,931	12,000	+34.4%

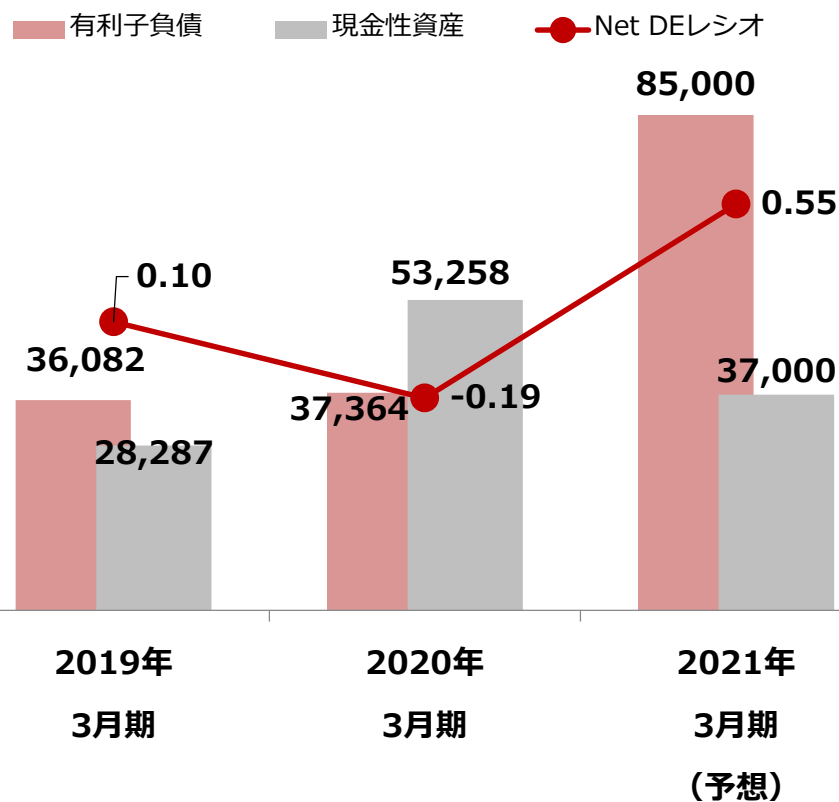
- ・ ティボーは、グローバルシェアが高いことから新型コロナウイルスの影響を保守的に捉え、売上は前年比 -15.8%と算定しております。事業EBITDAは、設備費用などのコストを据え置きとし、前年比 -17.5%と算定しております。
- ・ ヘルスケアセグメントについては、売上は前年比で成長継続としている一方、事業EBITDAは、成長投資コストを据え置きとし、前年比 -8.9%と算定しております。
- ・ シニア・ライフセグメントは、売上はイベントの自粛等の新型コロナウイルスの影響のため前年比で-9.3%とする一方、事業EBITDAは2020年3月期には秋季台風の影響があったため前年比で+4.1%と算定しております。（前年の秋季台風の影響を除くと減益）

*1 JMDCが公表しているEBITDAと当社の事業EBITDAでは定義が異なります。

*2 JMDCの2020年3月期数字は、2020年4月に当社から株式譲渡したエヌエスパートナーズの数字を遡及修正しております。



単位：百万円



Net Debt	7,795	△15,894	47,000
----------	-------	---------	--------

2020年3月期

- JMDCの上場、保有上場株式売却により現金性資産が大幅に増加。AlphaThetaの買収手許資金とするも、期跨ぎによりNet Debtは大幅に減少
- 大手金融機関とのコミットメントライン契約の未使用残高が約60億円あり

2021年3月期

- AlphaTheta買収による資金調達*1により、Net Debtが大幅に増加する一方、Net DEレシオは0.55で財務健全性は維持
- 買収後でも現金性資産は2019年3月期以上の水準を確保

*1 2020年4月3日公表の「特定子会社の異動を伴うAlphaTheta株式会社の株式取得のお知らせリリース補足説明資料（更新版）」ご参照

2020年3月期までは金額を目標としておりましたが、事業ポートフォリオ再編の進展に伴い、2021年3月期は、配当性向25%を目標といたします。

2019年
3月期

中間7円/株 期末8円/株 年間15円/株 配当性向18.1%

2020年
3月期

中間7円/株 期末8円/株 年間15円/株 配当性向41.4%
(一過性除くと11.4%)

2021年3月期
予想

連結配当性向 **25%** を目標とし、
今後も継続して安定的な配当を目指します。

※事業ポートフォリオ再編の進展に伴い、これまでの金額目標から変更

1 2020年3月期 連結業績

2 2021年3月期 連結業績予想

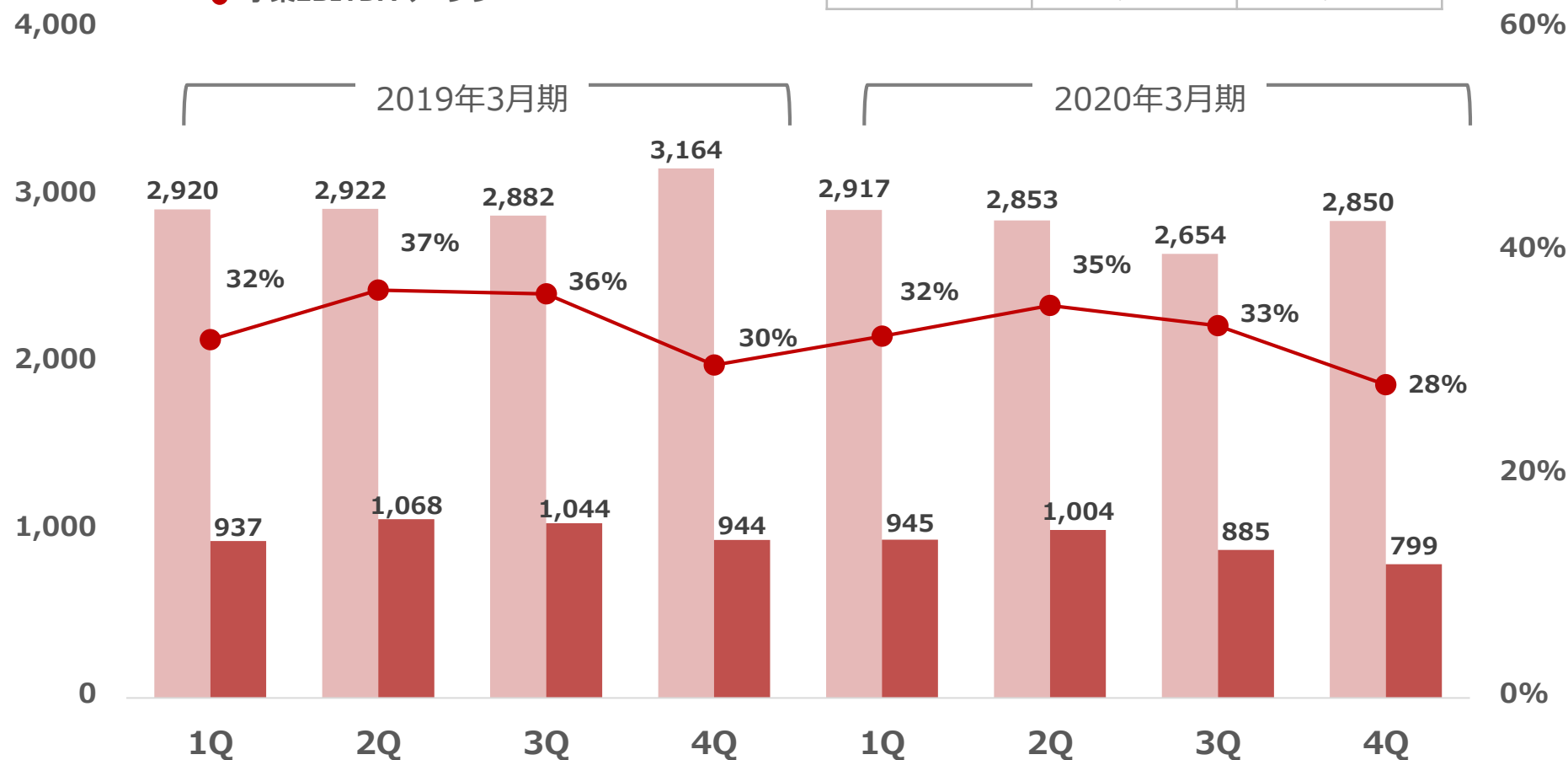
3 APPENDIX

セグメント別 四半期ごとの推移（ものづくり）

■ 売上収益
■ 事業EBITDA
● 事業EBITDAマージン

	2019年3月期	2020年3月期
売上収益	11,890	11,276
事業EBITDA	3,993	3,635

単位：百万円
4,000



対前年 増減率	売上収益	-0.1%	-2.4%	-7.9%	-9.9%
	事業EBITDA	+0.8%	-6.0%	-15.2%	-15.3%

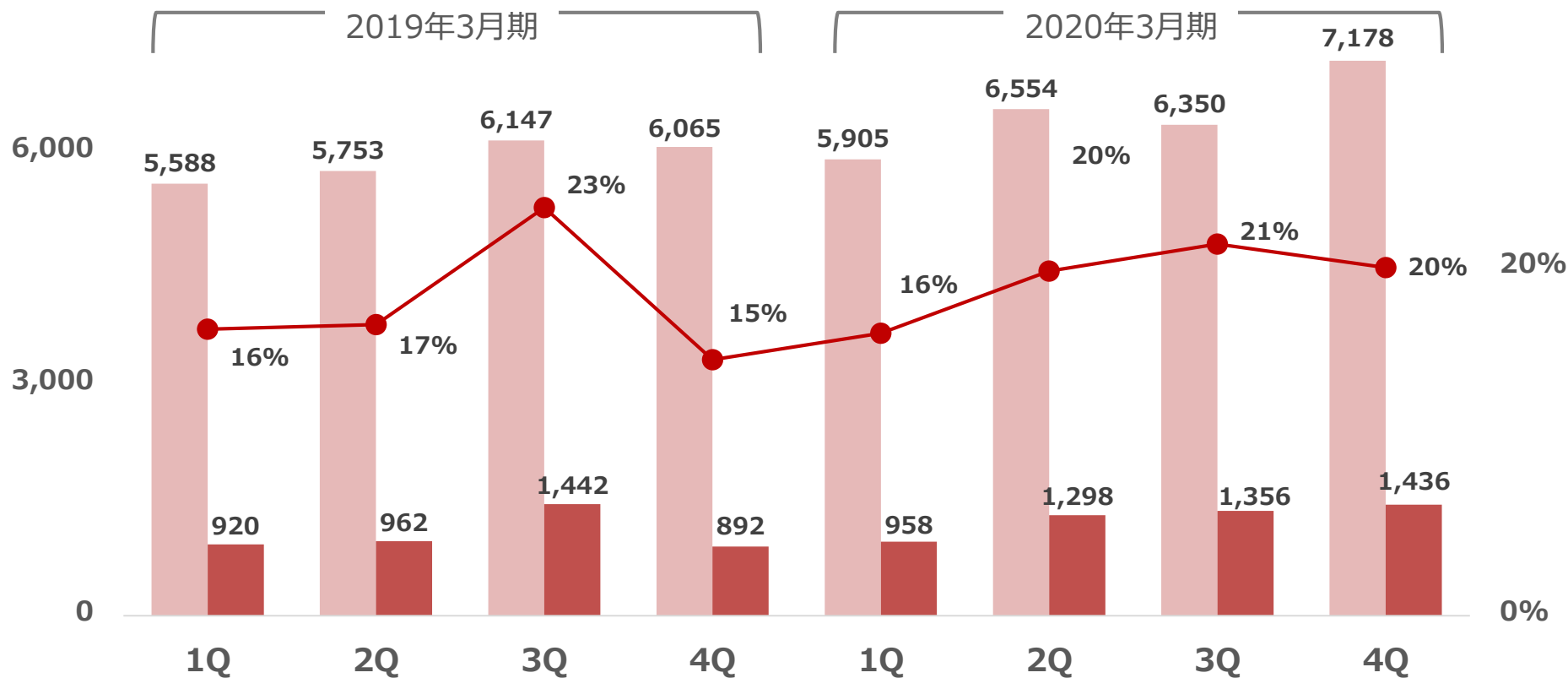
セグメント別 四半期ごとの推移 (ヘルスケア)

単位：百万円
9,000

■ 売上収益
■ 事業EBITDA
● 事業EBITDAマージン

	2019年3月期	2020年3月期
売上収益	23,556	25,989
事業EBITDA	4,214	5,050

40%



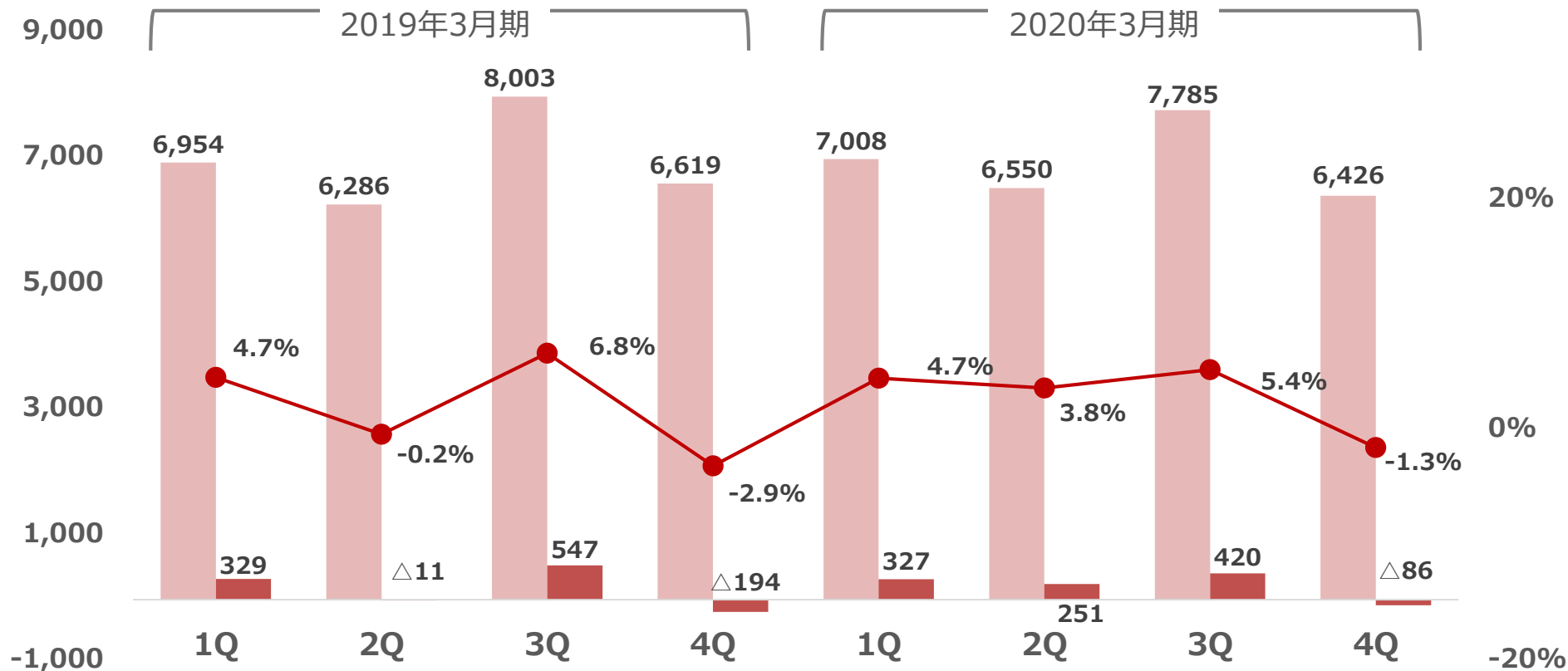
対前年 増減率	売上収益	+5.7%	+13.9%	+3.3%	+18.3%
	事業EBITDA	+4.1%	+34.9%	-5.9%	+60.9%

セグメント別 四半期ごとの推移 (シニア・ライフ)

■ 売上収益
■ 事業EBITDA
● 事業EBITDAマージン

	2019年3月期	2020年3月期
売上収益	27,864	27,770
事業EBITDA	667	913

単位：百万円



対前年 増減率	売上収益	+0.8%	+4.2%	-2.7%	-2.9%
	事業EBITDA	-0.7%	-	-23.2%	-

MANUFACTURING

ものづくり



HEALTHCARE

ヘルスケア



SENIOR & LIFESTYLE

シニア・ライフ



T E I B O W

世界No.1

テイボー(株)

世界トップシェアのペン先が新たな分野の未来を描く

年間約3400品種を取り扱い、国内および世界45ヶ国以上に販売するなど、世界トップシェアを誇るペン先事業を中心に、その技術力を応用し、コスメティック業界や先進医療を支える極細チューブ開発へも進出。さらに、金属粉末射出成形法「MIM」といった新分野にまで活躍の場を広げています。



(株)ソリトンコーポレーション

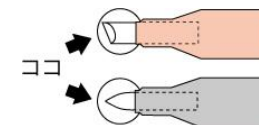
奈良筆の技術を踏襲した ブラシ穂首オートメーション製造メーカー

オートメーションのブラシ穂首製造機を活用し、品質と生産力の高さで他の追随を許さないブラシのプロフェッショナルメーカー。ハイブランドを含む国内外の化粧品メーカーに累計2億本以上を納品し、大手筆記具メーカーからも高い信頼を集め、今後ますますの事業領域拡大が予定されています。



筆記事業

- ・一般筆記・油性マーカー
- ・ラインマーカー・水性カラーペン
- ・ペイントマーカー
- ・ホワイトボードマーカー
など幅広く展開



先端及び極小部材 技術加工トップ



MIM事業

独自の中子中空技術、
材料開発をもって、
グローバルに事業を展開



コスメ事業

合成芯、フェルト芯、
プラスチック芯、PBTブラシなど、多様な
素材からなる部材を提供

2020年4月、ノーリツ鋼機グループに

AlphaTheta

世界No.1

AlphaTheta株式会社

世界中のDJに広く支持される トップDJ機器メーカー

「Pioneer DJ」で知られるDJ機器がグローバルトップシェアを誇る業界最大手。「製品のロイヤルティの高さ」、「ブランド力」で世界中のプロフェッショナルDJやファンから支持され続ける。また、ファブレス生産、ソフトウェアサービスを推進するなど新時代のものづくりを展開。



MANUFACTURING

ものづくり ●

HEALTHCARE

ヘルスケア ●

SENIOR & LIFESTYLE

シニア・ライフ ●

医療情報に関する事業

JMDCグループとして、2019年12月16日東証マザーズ上場



ヘルスビッグデータ事業

国内No.1

データとICTの力で、持続可能なヘルスケアシステムを実現する

民間利用可能な国内最大規模の医療データベースを、医薬・医療機器・研究機関・保険者などに提供。50以上の製薬・医療機器メーカーに導入されています。また、新たな医療技術や製薬開発へのソリューションとなる一方で、生命保険会社などの保険事業のサポートにも役立っています。



(株)ドクターネット

遠隔医療事業（遠隔画像診断サービス）

国内No.1

いつでもどこでも高品質な画像診断を

医療と人と社会をテクノロジーでつなぐ、遠隔画像診断サービスのリーディングカンパニー。より多くの画像を専門医が診断する質の高い画像診断サービスによって、ひとりでも多くの方の健康に貢献できる企業でありたい。その想いととも、これからも医療の未来を拓いていきます。

調剤薬局支援事業（薬局向けレセコン・電子薬歴の開発・提供）

スマートファーマシー®をコンセプトにICTで、次世代薬局を提案

健診機関や医療機関・介護施設とセキュアネットワークによって情報共有し、住民に最も近い存在の地域密着型薬局を創出する。その実現に向けて、「スマートファーマシー®」をサービス開発コンセプトに掲げ、保険薬局をストレスなく運営できるパッケージシステムを提供しています。



(株)ユニケソフトウェアリサーチ

医療機関サポートに関する事業



エヌエスパートナーズ(株)

2020年3月
JMDCグループ企業となりました

医療機関の経営サポート

経営コンサルティング・サポートで医療・介護現場の経営力を強化

医療・介護事業者の経営改善・再生のため、プロフェッショナル集団によるハンズオン型コンサルティングで多くの実績をあげています。また全国の医療機関や介護事業者、調剤薬局、歯科医院に向け、診療・介護・調剤報酬債権の流動化による資金調達（ファクタリング）を提供しています。



歯科材料・医療材料に関する事業

FEED

フィード(株)

歯科向け通販事業

革新的な歯科器材製品、サービスで歯科の流通革命を巻き起こす

顧客目線で常に革新的な商品・サービスを生み出し続けている歯科業界向け通販事業「FEED デンタル」、医療・介護業界向け通販「FEED メディカルケア」などを提供。流通の面から日々の業務をスピーディかつ的確にサポートすることで、質の高い医療サービスの実現へ寄与します。



医療検査に関する事業



予防医療事業、検査サービス

国内No.1

最先端の医療技術をいち早く実現し、リスク検査から始まる予防医療を推進
脳梗塞・心筋梗塞のリスク検査「LOX-index®」、各種がんのリスク検査、認知症のリスク検査や遺伝子検査など。重大疾患のリスク検査を軸に、最先端の予防医療サービスを提供しています。



母体血による胎児DNA検査サービス

国内No.1

実績No.1の新型出生前診断で、妊婦さんの「知りたい」をサポート
母体血を用いるため、リスクの低さと精度の高さで注目される新型出生前診断（NIPT）の提供を通して、安心して出産を迎えるサポートを。厳しい国際基準をクリアした国内ラボで、高い精度で安心して受検頂ける「GeneTech NIPT」を提供し、実施件数、導入施設数ともに国内No.1の実績を有しています。



MANUFACTURING

ものづくり ●

HEALTHCARE

ヘルスケア ●

SENIOR & LIFESTYLE

シニア・ライフ ●

シニア向け出版・通信販売事業

ハルメク

h a l m e k

国内No.1

(株)ハルメク

シニア向け出版ならびに通信販売業 50代からの女性が よりよく生きることを応援する

月刊定期購読誌「ハルメク」は、さまざまな節目を迎える50代からの女性のために、心豊かな生き方・暮らし方を応援する情報を発信。さらに、そこから生まれた通販カタログ「ハルメク 健康と暮らし」「ハルメク おしゃれ」や実店舗「ハルメク おみせ」、旅行や講座といったサービスまで、シニア女性の生活に幅広く役立つ事業を展開しています。

少額短期保険事業

日本共済株式会社

日本共済(株)

家財保険の少額短期保険

誰にでも分かりやすい賃貸入居者向け家財保険を提供

賃貸入居者向けの家財保険は、入居者様の家財、お部屋の修理費用、大家様に対する賠償責任を補償するなど、お部屋を借りる際に不可欠な存在です。商品設計の自由度が高い少額短期保険ならではの長を生かし、お客さまのニーズにきめ細かく応えた保険商品の開発やサービスを創造。日本全国の皆さまに、安心の保険をお届けしています。

出版事業



国内No.1の
ライフスタイル雑誌
「ハルメク」

ハルメク



通販事業



全国通販



文化事業・店舗事業
その他

ハルメクホールディングスとして、シニア女性向けに様々なサービスを展開

ハルメクグループは、50代からの女性が、人生の後半を元気に前向きに楽しく暮らせるようお手伝いすることこそが使命と考え、雑誌「ハルメク」の出版をはじめ、商品の開発や販売、旅行や講座といったサービスの提供など、さまざまな事業を展開しています。

シニア向けカタログ通販事業 株式会社 全国通販

70代女性を誰よりもよく理解し、商品・サービスを提供することで、70代女性が笑顔で楽しく過ごせる毎日の実現に貢献する。この経営理念のもと、アパレル・生活雑貨・食品・美容・健康食品などの総合通信販売事業を展開。

本資料に記載されているいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。